

御影小学校区防災福祉コミュニティ 地域津波防災計画 地域防災マップ

2022年 保存版

★大災害が発生したら

巨大地震など、大規模な災害が発生した場合、区役所や消防署といった防災機関やその職員自身が被災してしまうことも予想されるため、十分な応急活動を期待することができません。こうした状況のなか、まちの被害を抑えるためには、**地域住民同士が助け合って活動する**ことが大切です。

ご自分とご家族の安全を確保できたら、ぜひ **御影小学校区防災福祉コミュニティ** の活動に協力をお願いします。

★災害時の避難の考え方

御影小学校区では、河川の氾濫や津波による浸水の危険性がある地域以外であれば、たとえ大災害が発生しても集合住宅にお住まいの方を中心とした多くの方が、避難所に行かなくて済むか、行ってもすぐに自宅に戻って生活を継続できる「在宅避難」を選択することが可能です。

特に1981年6月以降に建てられた新耐震基準を満たしたマンション等の集合住宅であれば、震度6強までなら住めなくなる恐れはほとんどないと言われています。

小学校などの避難所は、家が倒壊したり流されたり、焼失して住めなくなった人のための生活場所です。

避難所は本当に避難が必要な人たちが使えるように、自宅での生活が可能であれば、在宅避難を選択しましょう。



地域津波防災計画 地域防災マップ 南海トラフ巨大地震が迫っている！

★避難生活に備えよう さらに詳しいチェックリストについては、人と防災未来センター発行の小冊子「減災グッズを備えよう！」をご参照ください。



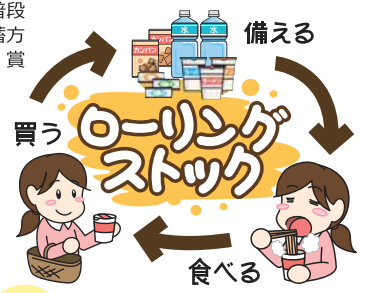
非常用備蓄品リスト

飲料水・食品 いざという時に備えて、最低3日分、できれば7日分の飲料水と食品を準備しておきましょう！

- 飲料水
- 無洗米
- レトルトご飯
- 即席麺
- スパゲッティ
- 缶詰（主菜：さば缶等）
- 缶詰（フルーツ等）
- レトルト食品

- 野菜ジュース
- 菓子類（チョコレート等）
- 栄養補助食品
- 健康飲料粉末
- 調味料 など

ローリングストックとは、備蓄している食品を普段の食事を使いながら、消費した分を買い足す備蓄方法です。短期間で新しいものに入れ替えるので、賞味期限の短い食品も扱うことができます。



- 生活用品**
 - ごみ袋
 - トイレトペーパー
 - ティッシュペーパー
 - ウェットティッシュ
 - 食用ラップ
 - 割りばし・スプーン等
 - 紙皿、紙コップ等
 - 乾電池
 - ライター
 - 使い捨てカイロ
 - 救急箱
 - 常備薬
 - マスク
 - 手指消毒液 など
- お年寄り**
 - おかゆ等柔らかい食品
 - 常備薬（処方薬）
 - 補聴器用電池
 - 入歯洗浄剤 など
- 女性**
 - 生理用品
 - メイクセット など
- 乳幼児**
 - 粉ミルク・液体ミルク等
 - 離乳食
 - おしりふき
 - おむつ など

- 災害時に特に必要なもの**
 - カセットコンロ
 - ガスボンベ
 - ライター
 - 携帯電話の予備バッテリー
 - 携帯トイレ
 - 懐中電灯（電池も）
 - 充電式等のラジオ
 - 使い捨て手袋
 - 軍手・ゴム手袋（厚手のもの）
 - スリッパ（寝室に置く）
 - ホイッスル など



非常持ち出し袋

必要があればすぐに持ち出せるよう、リュックサックに入れておきましょう。

- 飲料水
- 調理なしで食べられる食品
- 缶切り
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手・ゴム手袋（厚手のもの）
- 運動靴
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 身分証明書のコピー
- 筆記用具
- 現金（10円玉含む）
- 救急用品セット
- 持病役・常備薬
- マスク
- 簡易トイレ
- ティッシュペーパー
- トイレトペーパー
- ウェットティッシュ
- 使い捨てカイロ
- サバイバルブランケット
- タオル
- 衣料品（防寒・下着）
- ライター・マッチ
- 雨具
- 予備電池 など



★住まいの安全を点検しましょう

家の中の安全対策で比較的簡単にできるものに、家具の配置換えや転倒防止という方法があります。

家具の置き方を工夫しましょう

就寝中の安全を確保する

就寝中に地震に襲われると、とっさの行動ができず危険です。特に寝る場所には家具が倒れてこないように方向などを工夫しましょう。

通路や出入口にものを置かない

出口や逃げ道が家具でふさがれると、避難や救助が遅れてしまいます。ドアの開閉を妨げないよう、家具の配置を工夫しましょう。

その他の対策

- * 家の中の物を整理し、できるだけ家具の数を減らしてみましょう。
- * 重い物や危険な物を家具の上に置かないようにしましょう。

家具の固定をしましょう

金具で家具を固定する

下地などの強度を確認の上、L型金具で固定するのが、最も効果的です。

ベルトなどで家具を固定する

下地などの強度を確認の上、転倒防止用ベルトなどで固定します。

突っ張り棒等の利用時は注意！

天井がしっかりしていて、すき間が小さくないと効果が期待できません。

すまいるネットの耐震診断員派遣制度

昭和56年（1981年）5月31日以前に着工した住宅は、改正前の建築基準法に基づいて建てられているため、地震に対する強度が不足している可能性があります。神戸市ではこれらの住宅の耐震性を判断するため、無料で耐震診断員の派遣を行い、耐震診断と耐震回収へのアドバイスをする支援制度があります。

すまいるネット 耐震診断 検索 <https://www.smilenet.kobe-sumai-machi.or.jp/taishin/shiru/>

御影小学校区防災福祉コミュニティ 令和4年3月作成 だから地震・津波から身を守るために備えよう。

